

# 血清尿酸値は6.0mg/dL以下に維持することが大切です

**Q** 高尿酸血症が持続するとどうなるの？

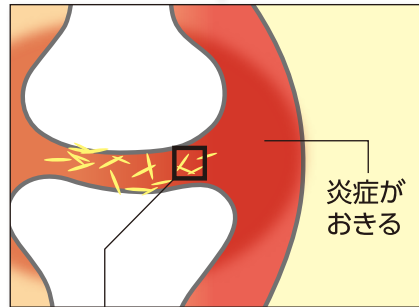
**A** 高尿酸血症が持続すると関節内に尿酸塩の結晶が析出・沈着します。尿酸塩の結晶は痛風発作の原因となります。  
(参考 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版)

関節内に析出・沈着した尿酸塩結晶



JF Baker, et al: Arthritis Rheum 62: 895, 2010

尿酸値の急激な変動や物理的  
刺激で関節に沈着していた尿酸  
塩結晶が剥がれ落ちる



炎症が  
おきる



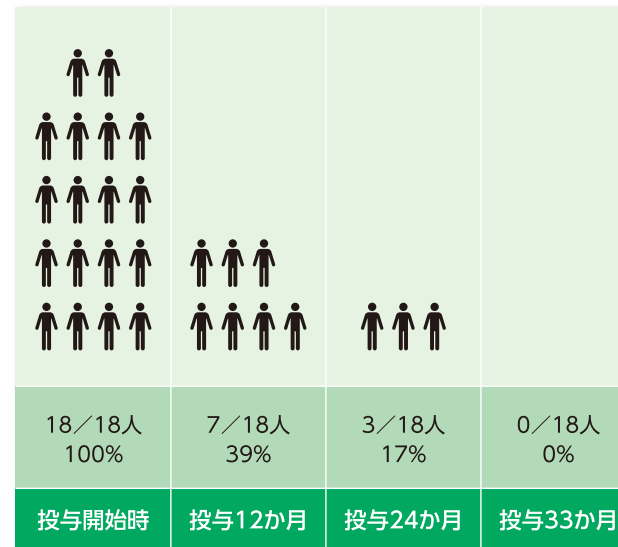
剥がれ落ちた  
尿酸塩結晶

Mylona et al. Arthritis Research & Therapy 2012, 14:R158より改変

**Q** 高尿酸血症はどれくらいの期間治療しないと  
いけないの？

**A** 尿酸値を6.0mg/dL以下にコントロールして33か月で  
痛風発作の原因となる尿酸塩結晶の消失が報告されて  
います。

## 関節内に尿酸塩結晶を有する患者数の推移



Eliseo P, et al: Ann Rheum Dis 66: 1056, 2007より作図

### 目的

尿酸値を6.0mg/dL以下にコントロールした際の関節腔内の尿酸塩結晶が消失するまでの期間について検討した。

### 方法

滑液中に尿酸塩結晶が認められ、尿酸治療を開始した18名の患者を対象として、3か月ごとに関節穿刺を実施し滑液を回収した。滑液中に尿酸塩結晶が存在するか確認し、顕微鏡400視野中に含まれる尿酸塩結晶の平均個数を計測、尿酸塩結晶が消失するまでの期間を検討した。

なぜ、6.0mg/dL以下を  
目指すの？

体内での尿酸の溶解限界よりも低い濃度である6.0mg/dL以下にすることで、体内にたまった尿酸の結晶が溶け始めます。尿酸が体内で結晶にならないようにするためにも、6.0mg/dL以下を維持することが大切です。

# 高尿酸血症治療薬の投与方法

## 高尿酸血症治療薬の薬剤選択

尿酸値を下げる薬には作用の違いで尿酸生成抑制薬と尿酸排泄促進薬の2種類があります。従来、高尿酸血症の病型に応じて尿酸降下薬を選択することが推奨されてきましたが、非プリンアナログ系尿酸生成抑制薬は高尿酸血症の病型にかかわらず、十分な血清尿酸値の降下作用を認めるため、従来よりも、病型分類を行う必要性は減っています。

高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版

## 高尿酸血症治療薬の投与方法

